

- ① 日本の「貯蓄から投資へ」という方針を支える2つの制度について、( ) に当てはまる言葉を答えなさい。

(1) ( ① ) は、株式や投資信託の運用益が非課税になる制度で、いつでもお金引き出すことができるのが特徴です。

(2) ( ② ) は、自分で作る年金制度のこと、掛け金が全額 ( ③ ) 控除になるため、税金を安くする効果（節税）が非常に高いのが特徴です。

(3) ( ② ) で積み立てたお金は、原則として ( ④ ) 歳まで引き出すことができません。

こたえ

① ( ) ② ( )

③ ( ) ④ ( )

- ② あるお父さんがiDeCoで年間12万円を積み立てることにしました。このとき、次の問題に答えなさい。

(1) お父さんの所得税・住民税の合計税率が20%だとすると、iDeCoによる「所得控除」によって1年間で安くなる税金は何円ですか？

こたえ ( )

(2) 新NISAにはない、iDeCoだけの「お金を出す時」のメリットは何ですか？「税金」という言葉を使って説明しなさい。



- ① 日本の「貯蓄から投資へ」という方針を支える2つの制度について、( ) に当てはまる言葉を答えなさい。

(1) ( ① ) は、株式や投資信託の運用益が非課税になる制度で、いつでもお金引き出すことができるのが特徴です。

(2) ( ② ) は、自分で作る年金制度のこと、掛け金が全額 ( ③ ) 控除になるため、税金を安くする効果（節税）が非常に高いのが特徴です。

(3) ( ② ) で積み立てたお金は、原則として ( ④ ) 歳まで引き出すことができません。

こたえ

- ① ( 新NISA ) ② ( iDeCo )  
③ ( 所得 ) ④ ( 60歳 )

- ② あるお父さんがiDeCoで年間12万円を積み立てることにしました。このとき、次の問題に答えなさい。

(1) お父さんの所得税・住民税の合計税率が20%だとすると、iDeCoによる「所得控除」によって1年間で安くなる税金は何円ですか？

こたえ ( 24000円 )

(2) 新NISAにはない、iDeCoだけの「お金を出す時」のメリットは何ですか？「税金」という言葉を使って説明しなさい。

(回答例) 出したお金（掛け金）のすべてが所得控除の対象となるため、働いて得た収入にかかる所得税や住民税などの税金を安くできる。